

県連情報

群馬県生活協同組合連合会

前橋市大手町 3-19-3

TEL 027 - 234 - 2376

10月号 (No.58)

2008年10月3日発行

「県連情報」はホームページでもご覧いただけます

<http://kenren.jccu.coop/gunma/>

Eメール: gunmakenren@coopnet.or.jp

ぐんま食の安全 安心県民ネットワークが 「食の現場探求隊」でコープネットの商品検査センターなどを見学

9月19日(木)

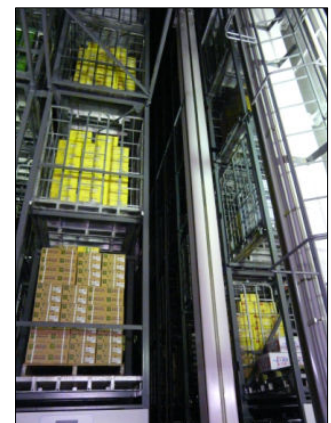
ぐんま食の安全・安心県民ネットワークは9月19日(木)、群馬県との協働事業として「第2回食の現場探求隊」を開催しました。一般公募により抽選で選ばれた38名が参加し、コープネット事業連合(本部:さいたま市)が運営する商品検査センターと、コープネットの美女木農産センターが置かれているJA全農青果センターを見学しました。

コープネット商品検査センターでは内田センター長から説明を受け、食の信頼回復のための様々な対策、とりわけ検査・点検の強化や商品管理の強化、事件や事故などの危機管理対策の強化、組合員や社会に対する情報提供の強化など、食の安全確保のためにコープネットが従来の体制を見直し、新たな取組みを始めていることなどを聞きました。続いて、検査センターの微生物検査や残留農薬検査、品質・成分検査などの様子を見学しました。参加者からは「ギョウザ事件で不安があったが、きめ細かな検査や新たな安全対策が強化されていることを知り、信頼感が高まった」との感想が寄せられました。

JA全農農産直センターは、全工程がコンピューター管理され、鮮度と品質を保持したままの流通が可能な「コールドチェーン方式」が導入された24時間稼働の最新鋭の施設です。説明を受けた後2班に分かれてセンター内を見学しました。センターの中核である自動ラック倉庫を実際に見学し、この倉庫内に4,752もの棚があり、保管量は1,200トンという説明に、参加者は、そのキャパシティや、全工程の自動化に驚いていました。



コープネット商品検査センター(上)
と美女木農産センター(下)



群馬県食品安全局が新 食品安全基本計画の推進のため 第21回食品安全語部の会「食の安全を考える」を開催

8月11日(月)



唐木英明氏の基調講演の様子

群馬県食品安全局食品安全課の主催で第21回「食品安全語部の会」が8月11日(月)、県市町村会館で開催され、消費者、生産者、事業者、行政から103名が参加しました。

はじめに、東京大学名誉教授唐木英明氏(食品安全委員会リスクコミュニケーション専門調査会専門委員)により「日本における食品安全の現状と課題」と題して、消費者が抱く食への不安やリスク認知の解明などについて分かりやすく基調講演が行われました。その中で、群馬県が農薬事故などを発表する際に使っている健康被害の程度に応じたクラス分類(クラス1からクラス3まで)表示について、消費者の正しい判断を促す方法だと評価されていました。

続いて、生産者、事業者、消費者、行政の代表者によるパネルディスカッションが行われました。パネルディスカッションでは、「食に対する信頼性を向上させるためには、何が必要か」などについてパネラーによる活発な意見交換が行われ、最後に会場からの意見や質問に答えて終了しました。

女性協が視察研修会を実施しユニセフハウスを見学しました ～総勢46人、子どもたちは「これからも募金したい」～

9月13日(土)

9月13日(土)、県連女性協議会は2008年度「女性協視察研修会」を開催し、日本ユニセフ協会のユニセフハウス(東京:港区)を見学しました。

ユニセフハウスでは、ビデオを観たあとボランティアさんの案内で展示コーナーの見学を行ない、ユニセフの活動や、ユニセフが活動している国の子どもはどんな問題を抱えているのか、どうすれば解決につながるのかなどをみんなで学習しました。

参加者からは、「これからも募金をします。ワクチンや水になるとうれしいです(小学生)」「親子ともども勉強ができました」「子どもの義足を見て、大人は何てむごいんだと思った」「戦争をなくす活動も一方で大切だ」などの感想が語られました。

ユニセフハウスをあとにして一行は、帰路『しながわ水族館』に立ち寄り、アシカショーなどを楽しみながら平和の尊さを噛みしめました。

往復の車中では、「平和の種をまく」(大塚敦子写真絵本)の読み聞かせや、手話の大合唱、感想の語り合いなどで長い道中もあつという間でした。



地雷は子ども達の身体も心も傷つけています。

女性協運営委員会が国立女性教育会館を見学しました ～運営を支えるボランティアの活動に感激～

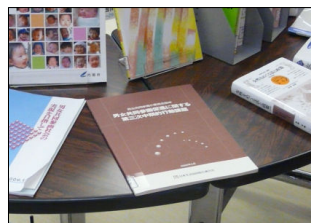
8月20日(水)

県連女性協議会は、運営委員会学習会として8月20日(水)、独立行政法人「国立女性教育会館」(嵐山町:埼玉県)を訪問し、男女共同参画社会実現に向けた取り組みを視察しました。

男女共同参画社会実現のための学びの拠点といわれる「国立女性教育会館」の目玉は、女性教育情報センターでした。86000冊の図書その他23000冊の行政資料、24万件の新聞の切り抜き、雑誌3600誌など、女性・家庭・家族に関する資料・情報がびっしり整理されています。新聞や雑誌はボランティアの方が一つひとつ目を通し、切抜きや整理をしている様子が目に焼きつきました。

4万坪という広大な敷地には、女性教育情報センター(図書館)、アーカイブセンター、美術・工芸室や音楽室、調理実習室などの工芸棟、広い研修棟、宿泊施設、日本家屋や茶室が建つ日本庭園、テニスコートやプールなど沢山の施設が配置されています。

去年は3500団体11万人が利用、会館以来197万人、外国人は165カ国2万人が利用しているそうです。まさにアジアや世界の拠点的施設でした。



女性教育情報センターを見学。入るとすぐ日生協の男女共同参画の冊子が、目にとまりました。

6県連合同業態研集会在栃木県で開催されました ～5県連、19生協、日生協から43名が学習 交流～

8月20日(水)

群馬県、栃木県、茨城県、長野県、埼玉県の各県連が持ち回りで開催している6県連合同業態研修会が9月8日(月)、9日(火)、栃木県で開催されました。

群馬県連からは、県庁生協(2人)、県連(3人)が参加し、栃木県職員生協の視察と全体研修を通して、それぞれの取り組みを学び交流しました。

全体研修では、栃木県経営管理部石川政男主幹による新庁舎整備の経過報告、栃木県職員生協鮎渕守常務理事の「事業内容報告」、富士フィルム生協中村次郎顧問の特別講演「職域生協の今後の展望」などを聞きました。

また、栃木県環境森林部自然環境課自然保護担当の丸山哲也主査から「自然生態系バランス回復の試み」について講演をうけ、2日目には自然環境について考え味わいながら奥日光を散策しました。



全体研修の様子

はるな生協が学習会「食の安全と日本の農業」を開催しました ～講師にJA中央会の齋藤尚登氏を招いて～

9月13日(土)

はるな生協の健康づくり部会は8月30日、講師にJA群馬中央会営農支援センター副センター長齋藤尚登氏を招いて、高崎中央病院内の会議室で「食の安全と日本の農業」と題して学習会を開催しました。

土曜日の午後にもかかわらず、組合員・職員合わせて約50人もの方が熱心にメモをとりながら講演に聞き入り、日本の農業や食への関心の高さをうかがわせました。

齋藤氏は「暫定基準を適用する農薬の残留基準は、0.01ppm以下。これは25mプールに塩を一つまみ入れた程度である。基準を少しでもオーバーするとマスコミに大きく報道され、農家の所得はゼロになってしまう」、「2007年度の日本の食料自給率は40%だが、食事1回につき国民がもうひとロコメを食べれば1%上がる計算だ。お米を食べましょう」、「水の問題も重要。小麦を1kg生産するには2トン、牛肉1kg生産するには16トンの水が必要。水資源紛争が起こりかねない状況にある」など、実態に基づいた話をされました。

講演の後、参加者からはコメ輸入の問題、環境問題、地産地消の問題などについて質問が絶えませんでした。



学習会の様子

平成20年度群馬県総合防災訓練に参加しました ～安中で67機関750名が参加して実施～

9月13日(土)

防災の日(9月1日)に合わせて開催されている群馬県総合防災訓練が9月6日(土)、群馬県と安中市の共催で安中市の碓氷川河川敷で実施されました。

群馬県生協連からはコープぐんま、ぐんまよつ葉生協、生活クラブ生協、パルシステム群馬が「災害救援物資輸送車」の横断幕を取り付けた配送トラックで、緊急物資輸送訓練に参加しました。

“安中市を震源とするマグニチュード7の直下型地震が発生、家屋倒壊、火災、インフラにも多大な被害が発生。また台風が群馬県に接近し風雨が強まり、土砂災害の危険性が高まった。さらにテロリストが正体不明の物質を撒いて負傷者が発生している”という想定で行われ、67機関から750人が参加し、実戦さながらの訓練となりました。

群馬県生協連は群馬県との協定に基づき避難所に応急生活物資を輸送する訓練に、平成8年から参加しています。



4地域生協と県連から9名が緊急物資輸送訓練に参加しました。

会員生協との緊急連絡訓練を実施しました

8月12日(火)

県連の災害対策協議会は、県連に登録されている会員生協の緊急連絡網が実際に機能するかどうかを確認するため、8月12日(火)、緊急連絡訓練を実施しました。

災害に備え、群馬県生協連では、会員生協への緊急連絡のために各会員生協の緊急連絡先(担当者、担当者の業務メール、携帯メール等)を登録していますが、実際に緊急連絡が通るかどうかの確認のため今回の訓練を実施しました。

会員生協のうち緊急連絡先の登録されている15生協の担当者30人に、計52通(業務30通、携帯22通)のメール(右記)を送信したところ、14生協の21人から28通の返信を受け取りました。(返信率は生協93%、人数70%)

今回の訓練では、メールアドレスの登録違いや携帯メールの受信制限などで6通の送信エラーが発生するなど、今後の緊急連絡網整備の課題が見えてきました。

災害対策協議会では、毎年2回程度の実施をすることとしています。

メールの内容



(訓練) 14時50分頃発生した前橋市を震源とする地震(M7.3)による各生協の被害状況について、至急報告願います。①人・施設・事業への被害の状況、②周辺の被害状況(道路・交通機関・建物・電気・ガス・水道等) 以上

県連災害対策本部
7/12 15:00

2008年度

お知らせ

第40回群馬県生協大会

2008年10月30日(木) 9時30分開場 10時開始
9時50分までにご入場下さい

群馬県公社総合ビルホール

第1部 記念式典

午前10時～午前11時 ■永年勤続表彰 ■組合員・団体表彰

第2部 午前11時15分～12時45分

黒坂黒太郎コカリナコンサート

黒坂黒太郎 (コカリナ) 矢口周美 (ボカール) 福澤達郎 (ピアノ)



生協大会は、消費生活協同組合強化普及月間の一環として群馬県から委託を受けて県生協連が主催して実施しています。

事前のお申込みが必要です。各所属生協にお申込みください。
ただし、第二部のみの参加は大会の趣旨により承ることができません。

県連便り

県連活動日程

- 10月 6日 県連事務局会議
- 7日 生協大会第3回実行委員会
- 8日 第4回女性協運営委員会
前橋市消団連視察研修
- 9日 第2回50周年記念事業実行委員会
県消費者大会実行委員会
- 10日 ~11日 医療部会運営委員会
- 11日 ~12日 収穫感謝祭
- 15日 対県要請回答説明会
- 16日 第3回常務理事会
- 17日 県消団連視察研修会
- 20日 県ハイヤー協会懇談会
- 21日 第3回災害対策協議会
- 22日 都県連責任者会議
- 27日 第52回群馬県消費者大会
- 30日 第40回群馬県生協大会
- 11月 1日 ~2日 食べる大切フェスティバル
- 4日 第5回組織部会・県連事務局会議
- 6日 第3回50周年記念事業実行委員会

第3回県連理事会報告

日時 2008年9月18日(木) 10時00分～
場所 全労済群馬県本部 大渡ホール

議事及び内容

□ 報告事項

- 1、一般経過報告
- 2、特別報告
- 3、女性協議会・会員生協

□ 協議事項

- 1、消費者政策の充実強化を進める取組み
- 2、食品の安全を確保する取組み
- 3、県連の災害対策
- 4、県連創立50周年記念事業について
- 5、第40回生協大会について
- 6、その他